

三鷹教育・子育て研究所「三鷹市教育ビジョンの見直しに関する研究会」

(第6回会議録要旨)

日時 平成23年2月16日(水) 午後5時～7時

会場 三鷹ネットワーク大学

出席者 貝ノ瀬 滋(所長)、佐藤 晴雄(座長)、櫻井 眞治(座長代行)、吉村 春美、荒井 英治郎、林 寛平、藤川 雅志、八代 誠、内野 時男、松野 泰一、井上 明(オブザーバー)

事務局 三鷹市教育委員会事務局総務課、指導課、三鷹ネットワーク大学

〈議事要旨〉

(注)この会議録は抄録であり、すべての発言が記載されているものではありません。

1. 貝ノ瀬所長あいさつ(略)

2. 議題

(1) 教育ビジョン見直しに係る提言について

(2) 意見交換

これまでの調査研究を取りまとめた提言(案)を事務局が作成し、説明の後、意見交換を行った。主な意見・確認内容は次のとおりである。

- この報告書は、中・長期的な視点かららの検討課題も含めた論点を整理し、報告書としてまとめたものである。この報告書を踏まえ、教育委員会としての検討をさらに深めるとともに、多様な市民参加による検討を進め、新たなビジョンが策定されることに期待したい。
- 新たな教育ビジョンは、教育基本法及び教育基本計画を踏まえ、三鷹市の教育理念を明確なメッセージとして打ち出すことが重要である。
- 教育ビジョンがめざす子ども像は、ビジョンの最も重要な目標となるものであり、その子ども像を実現する際の取り組みの各主体についても、どのような役割と責任を果たすべきかが分かるような整理が求められる。
- スクール・コミュニティの理念についても一定の整理を行っているが、新たなビジョンの策定に向けては、さらに議論を進め、三鷹のめざす「スクール・コミュニティ」をより一層明確にする必要があるだろう。
- 「公教育の再定義」は、重要な視点である。公立学校においても、個性に応じて能力を伸ばす多様な教育が実現されるよう明確に盛り込むべきではないか。

【まとめ】

本日の意見を踏まえ、事務局が正副座長と調整し、提言をまとめることが了承され、研究会を終了した。